D01126201F

ESOTERIC

K-01

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

SUPER AUDIO CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

安全にお使いいただくために 3
お使いになる前に 6
使用上の注意 7
ディスクについて 8
リモコンについて 9
接　続 10
各部の名称(本体) 12
各部の名称(ディスプレー) 13
各部の名称(リモコン) 14

再　生 16
選　曲 18
リピート再生 19
プログラム再生 20
ディスプレー 21
D/Aコンバーターモード 22
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する 22
設定について 25
設定できる項目と設定 26
ディマー 28
音量の調節 29

困ったときは 29
仕　様 31
保証とアフターサービス 32
リアパネル 33

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.
Reverse engineering and disassembly are prohibited.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Macintosh and Mac OS X are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

MEXCEL は三菱電線工業株式会社の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは。** **機器の内部に異物や水などが入ったときは。** **この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない。** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。** コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)に交換をご依頼ください。
	電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のキャビネットは絶対に外さない。** キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。
 強制	**この機器を設置する場合は、壁から 20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。** **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 15cm以上、背面から 10cm以上のすきまをあける。** 内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約 31kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	この機器の付属の電源コードを他の機器に使用しない。 故障、火災、感電の原因となります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告　乾電池に関する警告
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

	警告　電池に関する警告
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

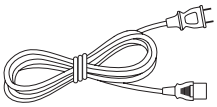
	注意　電池に関する注意
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災·けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(34ページに記載)にご連絡ください。

電源コード×1



リモコン (RC-1156)×1



リモコン用乾電池 (単3)×2本

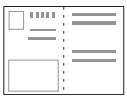


フェルト×3枚



取扱説明書(本書)×1

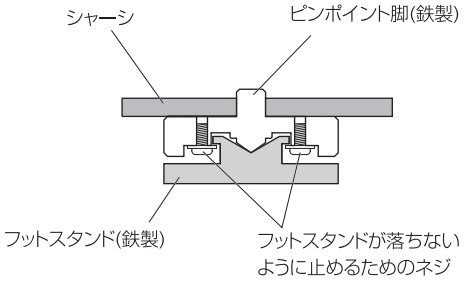
ご愛用者カード×1



設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



● 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(34ページに記載)に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラス扉付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのトレー開閉ボタン(⏏)を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

外部接続した機器で録音する時の注意

ディスクによってはコピー禁止信号の入っているものがあります。コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。
(音声をアナログで録音することは可能です)

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(PSE)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオCD

SUPER AUDIO CD

音楽用CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、DVD-ROM、CD-ROMなどは再生できません。
- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクやDual Discは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

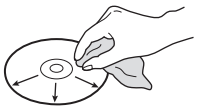
ディスクの取り扱い

- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　ディスクの持ち方



- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



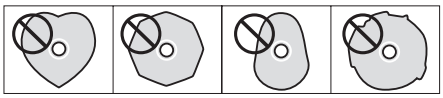
- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

リモコンについて

● 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

● ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

● ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



● レーベル面に印刷するタイプのディスク(プリンタブルディスク)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

リモコン使用上の注意

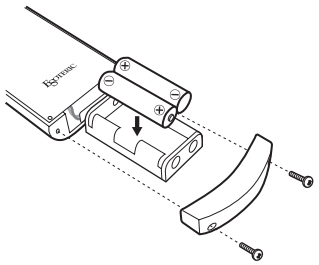
● リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。

● リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。

● 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

ドライバーを使ってリモコン下部のフタを外し、電池ケースを引き出してください。⊕と⊖の向きを確認して乾電池(単3形)2本を入れたら、電池ケースを戻し、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

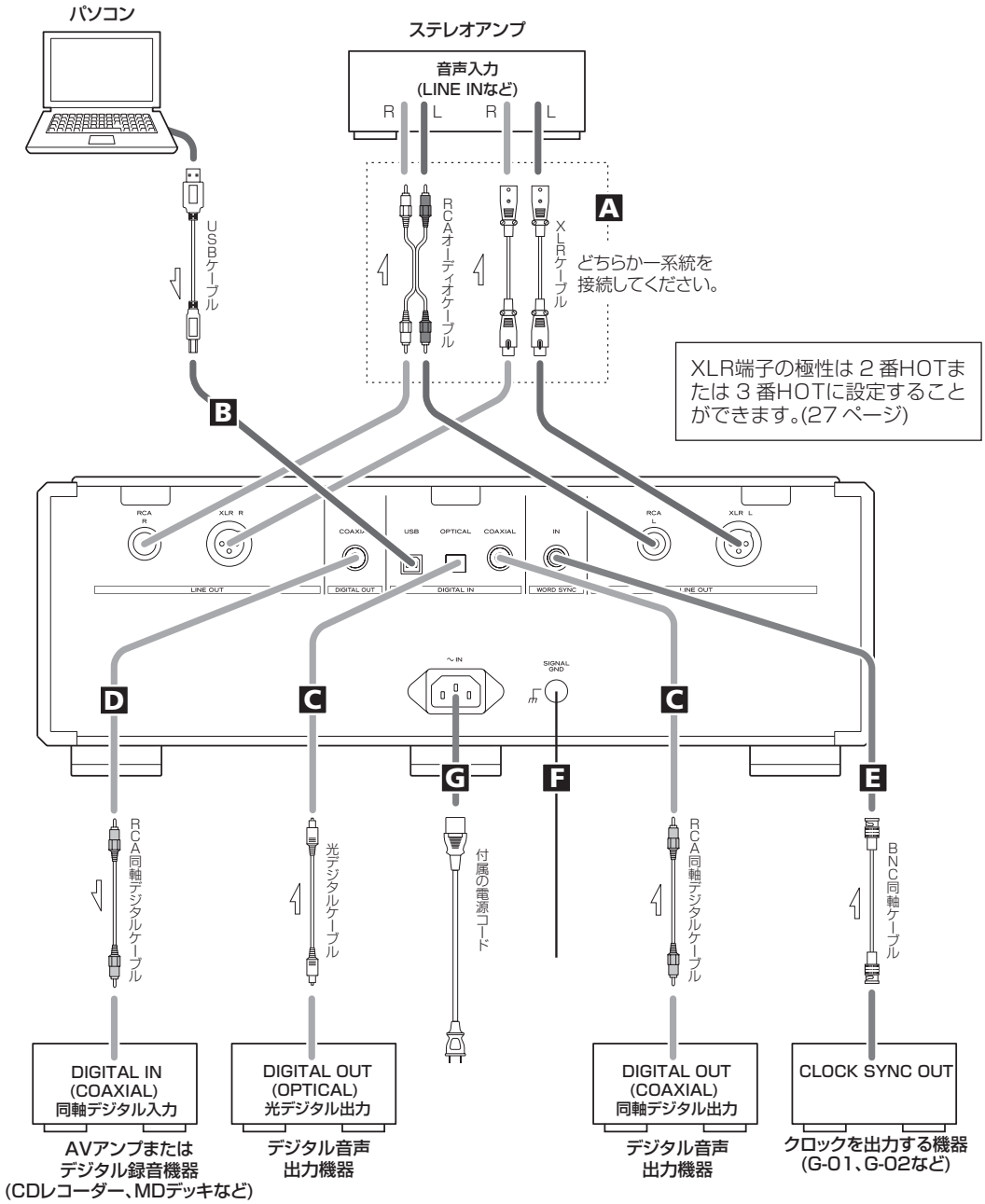
⚠電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
5 ページの注意をよく読んでご使用ください。

接　続

⚠ 接続時の注意

● 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
● 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



デジタル出力はオン/オフの設定ができます。(28 ページ)

A アナログ音声出力端子

2チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR端子またはRCA端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。
XLR : バランス型XLRケーブル
RCA : RCAオーディオケーブル

本機のR端子とアンプのR端子、本機のL端子とアンプのL端子をそれぞれ接続してください。

- アナログ音声出力は、RCAおよびXLR端子(極性は2番HOTまたは3番HOT)またはOFFから選択できます。(27ページ)
- XLR端子を選択した場合には出力レベルを設定することができます。(27ページ)
  出力レベルを+6dBに設定して音が歪んでしまう場合は、0dBに設定してください。

B USB入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンのUSB端子と接続してください。

接続には市販のUSBケーブルをお使いください。

- 接続の前に22～24ページの注意をよくお読みください。

C デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。
32kHz～192kHz、24bitの信号が受信できます。

接続には市販のケーブルをお使いください。
COAXIAL : RCA同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

エソテリックでは、リファレンスとしてエソテリック **MEXCEL** ストレスフリーケーブルを使用しています。詳細については下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.esoteric.jp/products/esoteric/accessory/index.html

D デジタル音声出力端子

本機で再生したCDのデジタル音声、もしくは本機のデジタル入力端子に入力されたデジタル音声を出力します。
本機のデジタル音声出力端子(COAXIAL)を、アンプやデジタル録音機器(CDレコーダーなど)のデジタル音声入力端子と接続してください。

接続には市販のRCA同軸デジタルケーブルをお使いください。

- この端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声を出力することはできません。
- デジタル出力は、オフ、CD、THRU(モードボタン(MODE)で選んだソース)から選択できます。(28ページ)

E ワードシンク端子

ワードクロック（同期信号）を入力します。
本機のワードシンク端子とマスタークロックジェネレーターのワードクロック出力端子を接続してください。

接続には市販のBNC同軸ケーブルお使いください。

F アース端子[SIGNAL GND]

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

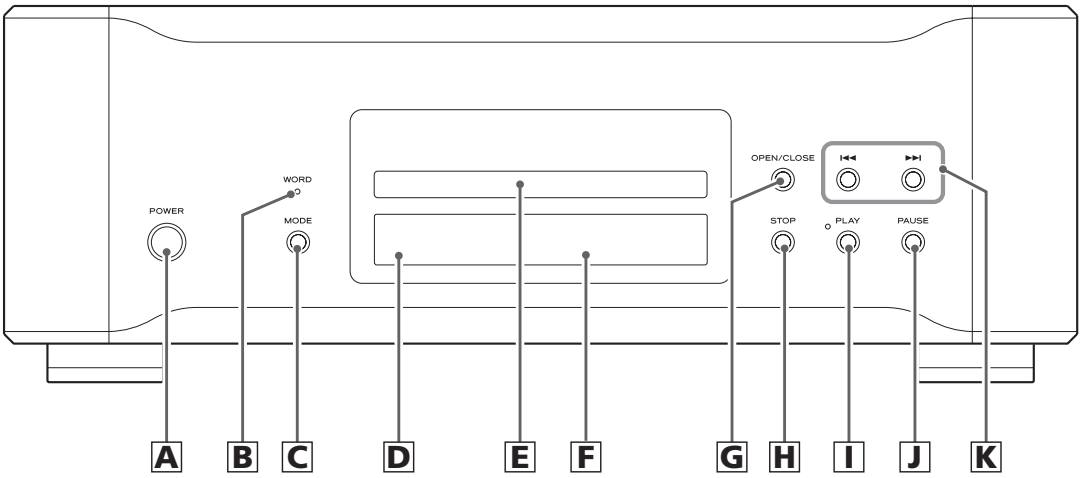
G ACインレット

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ **エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

各部の名称(本体)



A 電源ボタン [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B ワードインジケーター [WORD]

ワードシンクの状態を表示します。
ワードシンク端子に信号が入力されるとインジケーター点滅し、ロックすると点灯に変わります。

C モードボタン [MODE]

停止中に押すと、ディスク再生と外部入力からソースを選択します。外部入力にするとD/Aコンバーターとして使用することができます。(22 ページ)
2 秒以上押し続けると、設定モードになります。(25 ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(14 ページ)

E ディスクトレーとシャッター

シャッターが開いてディスクトレーが出てきます。(16 ページ)

F ディスプレー

再生時間や曲数などの情報を表示します。(13 ページ)

G トレー開閉ボタン [OPEN/CLOSE]

ディスクトレーを開閉します。

H 停止ボタン [STOP]

再生を停止します。(17 ページ)
停止中に 2 秒以上押し続けると、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(17 ページ)
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(25 ページ)

I 再生ボタン [PLAY]

ディスクを再生します。(16 ページ)
再生中はPLAYインジケーターが点灯します。

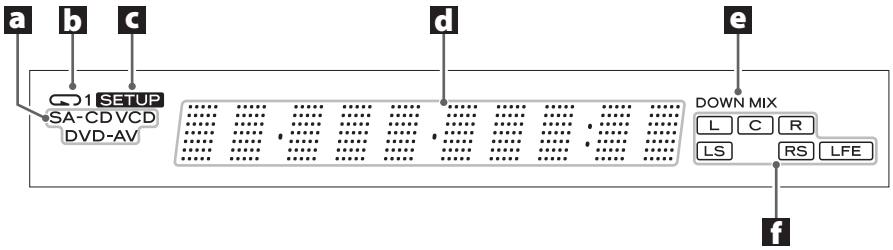
J 一時停止ボタン [PAUSE]

再生を一時停止します。(17 ページ)
一時停止中はPLAYインジケーターが点滅します。

K スキップボタン [I◄◄ / ►►I]

前または後ろにスキップします。
再生中に 1 秒以上押し続けると早送り/早戻しをします。1 秒以上の長押しをくり返すと、早送り/早戻しのスピードが 3 段階に変わります。(18 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(25 ページ)

各部の名称(ディスプレー)



a ディスクインジケーター

セットされているディスクの種類を表示します。

スーパーオーディオCD: SA-CD
音楽用CD: CD

● DVD-Video（DVD-V）、DVD-Audio(DVD-A)、ビデオCD(VCD)のディスクをセットした場合、インジケーターは点灯しますが、ディスクを再生することはできません。

b リピートインジケーター

リピート再生中に点灯します。(19 ページ)

c セットアップインジケーター

設定モード時に点灯します。(25 ページ)

d メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージが表示されます。

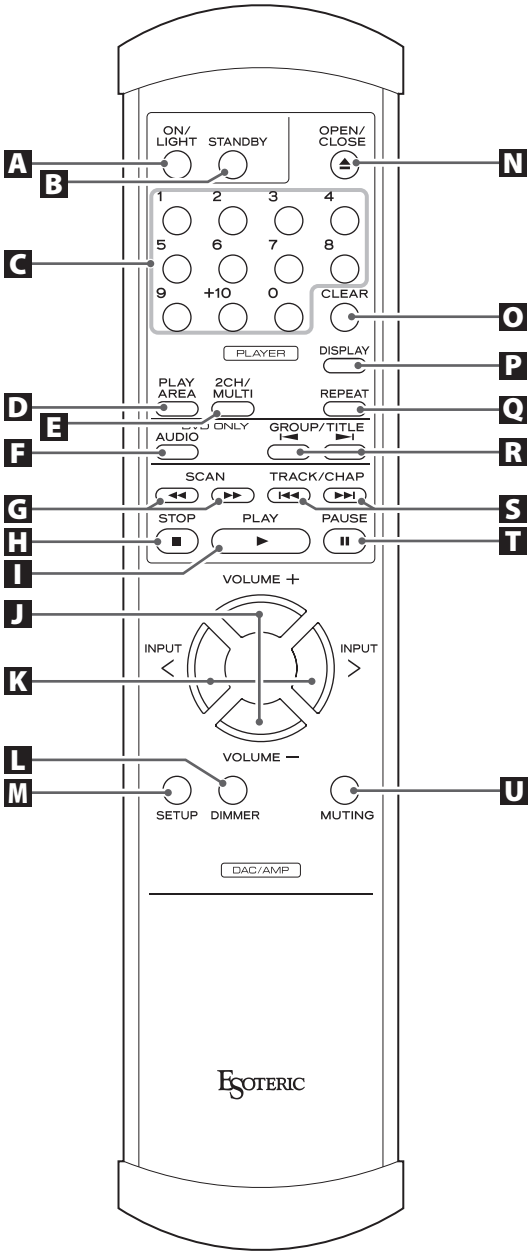
e ダウンミックスインジケーター

スーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声を再生した場合、ステレオ音声(2 チャンネル)にダウンミックスして出力します。その時にダウンミックスインジケーター(DOWN MIX)が点灯します。

f チャンネルインジケーター

ステレオ音声（2 チャンネル）の再生中は、L/Rが点灯します。
マルチチャンネル音声の再生中は、記録されているチャンネルが点灯します。

各部の名称(リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

A 照明ボタン [ON/LIGHT]
このボタンを押すと、リモコンの白いボタンが数秒間点灯します。

B スタンバイボタン [STANDBY]
本機では使用しません。

C 数字キー
選曲に使います。

D 再生エリアボタン [PLAY AREA]
停止中に押すと、スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。(17 ページ)

E 2 チャンネル/マルチチャンネルボタン
本機では使用しません。

F オーディオボタン [AUDIO]
プログラム再生に使います。(20 ページ)

G スキャンボタン (◄◄/►►) [SCAN]
早送り/早戻しに使います。(18 ページ)

H 停止ボタン(■) [STOP]
再生を停止します。(17 ページ)

I 再生ボタン(►) [PLAY]
ディスクを再生します。(16 ページ)

J 音量ボタン [VOLUME]
設定モードでアッテネーター機能をオンにしているとき、音量を調節します。(27 ページ)
エソテリック製アンプの音量調節に使います。

K 入力切換ボタン [INPUT]
本機では使用しません。
エソテリック製アンプの入力切換に使います。

L ディマーボタン [DIMMER]
本体のディスプレーの明るさを調節できます。(28 ページ)

M セットアップボタン [SETUP]
本機では使用しません。
エソテリック製アンプの設定に使います。

N トレー開閉ボタン(▲) [OPEN/CLOSE]
ディスクトレーを開閉します。(16 ページ)

O クリアボタン [CLEAR]
数字キーを押し間違えたときなどに使います。

P ディスプレーボタン [DISPLAY]
再生中にこのボタンを押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(21 ページ)

Q リピートボタン [REPEAT]
リピート再生に使います。(19 ページ)

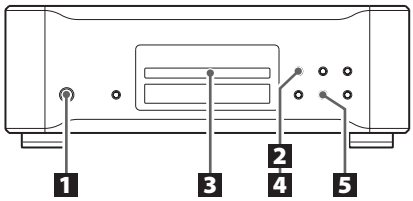
R グループ/タイトルボタン(I◄◄/►►I) [GROUP/TITLE]
停止中にこのボタンを押すと、ディスク再生と外部入力からソースを選択できます。外部入力にするとD/Aコンバーターとして使用することができます。(22 ページ)
グループ/タイトル機能は本機では使用しません。

S スキップボタン(I◄◄ / ►►I) [TRACK/CHAP]
前または後ろのトラックにスキップします。(18 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(25 ページ)

T 一時停止ボタン(❚❚) [PAUSE]
再生を一時停止します。(17 ページ)

U ミュートボタン [MUTING]
設定モードでアッテネーター機能をオンにしている場合は、一時的にミューティング(消音)します。(29 ページ)
エソテリック製アンプのミューティング機能を使うときに使います。

再　生



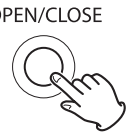
1 電源をオンにする。



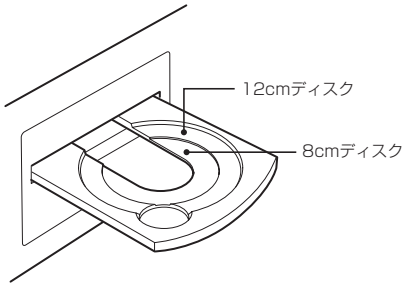
電源ボタン(POWER)の周囲が青く点灯します。

2 トレー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)を押す。

シャッターが開いてディスクトレーが手前に出ます。

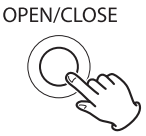


3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。



● ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 トレー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)を押す。



ディスクトレーが格納されてシャッターが閉じます。
指を挟まないようにご注意ください。

● ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
ディスクを読み込むと、ディスプレー (13ページ)にディスクの種類、収録曲数、収録時間が表示されます。

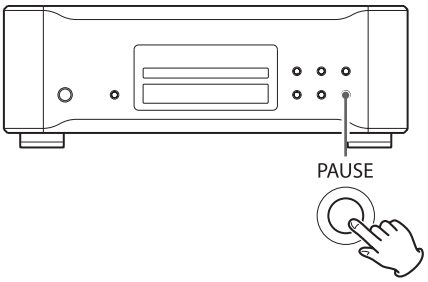
5 再生ボタン(PLAY)を押す。

再生が始まります。



再生中は、PLAYインジケーターが青く点灯します。

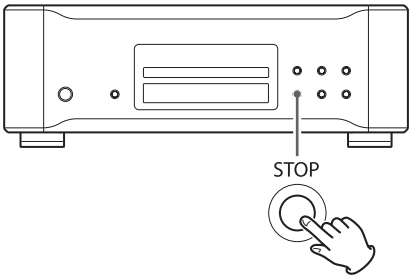
一時停止するには



再生中に一時停止ボタン(PAUSE)を押すと再生が一時停止し、本体のPLAYインジケーターが点滅します。

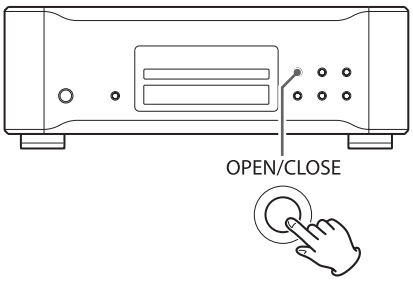
再生ボタン(PLAY)または一時停止ボタン(PAUSE)を押すと、再び再生が始まります。

再生を停止するには



停止ボタン(STOP)を押すと再生が停止します。

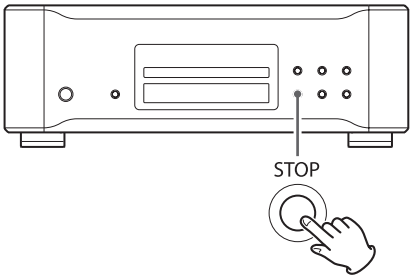
ディスクトレーを開閉するには



トレー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)を押すとトレーが開き、もう一度押すと閉まります。

● ディスクの再生中にトレー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)を押した場合は、トレーが開くまで数秒以上かかります。

再生エリアの切り換え

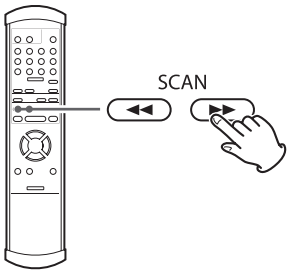


スーパーオーディオCDには、ステレオ(2チャンネル)とマルチチャンネルなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオCDとCDの2層構造(ハイブリッド)になっているものがあります。
停止中に停止ボタンを2秒以上押すと、再生エリアを切り換えることができます。

● リモコンで再生エリアの切り換えをするには、停止中に再生エリアボタン(PLAY AREA)を押してください。

選　曲

早送り/早戻しするには(スキャン)



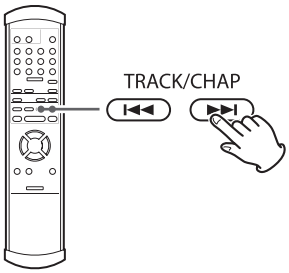
再生中にリモコンのスキャンボタン(◄◄/►►)を押すと早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら、再生ボタン(►)を押してください。

スキャンボタン(◄◄/►►)をくり返し押すと、早送り/早戻しの速度が変わります。
本体で操作する場合は、スキップボタン(I◄◄ / ►►I)の長押し(1秒以上)をくり返します。
ディスプレーの「<」または「>」の点滅速度も変わります。

→ 速度(低) → 速度(中) → 速度(高) → 通常の再生 ┐

● スキャンボタン(◄◄/►►)を押し続けるのではなく、短く何回か押すことで早送り/早戻しの速度が変わります。

スキップするには



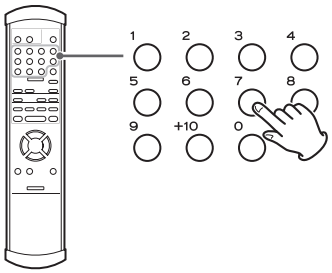
再生中に本体またはリモコンのスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

● I◄◄ ボタンを1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、I◄◄ ボタンを続けて押してください。
ただし、曲の最初の1秒以内でI◄◄ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。

● 停止中または一時停止中にI◄◄ / ►►I ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

リピート再生

数字キーで選んで再生するには



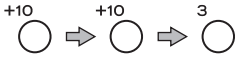
再生中または停止中に数字キーを押すと、その曲から再生を始めます。

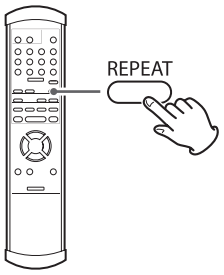
例)

曲番 7:

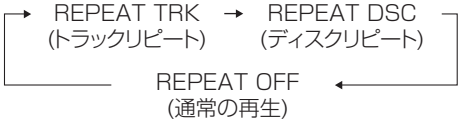


曲番 23:





再生中にREPEATボタンを押すと、リピートモードが以下のように切り替わります。



トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

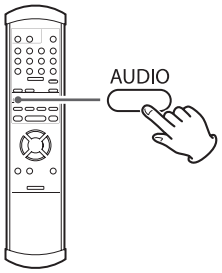
● 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

プログラム再生

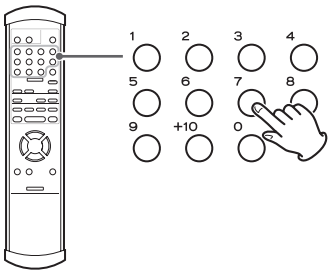
聴きたい曲を順番に30曲までプログラムできます。

1 停止中または再生中にオーディオボタン(AUDIO)を押す。

再生中の場合は、その曲が1番目にプログラムされます。



2 数字キーでプログラムしたい曲番を選ぶ。



例)　3の場合 ：3
12の場合 ：+10→2
20の場合 ：+10→+10→0



プログラムされたトラック番号　プログラム番号

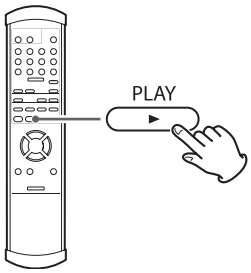
複数の曲をプログラムするときは、続けて数字キーを押してください。

- 数字キーを押し間違えた場合は、クリアボタン(CLEAR)を押してください。最後にプログラムした曲番が削除されます。
- そのディスクに存在しない曲番はプログラムできません。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン(►)を押す。

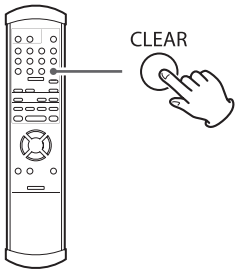
プログラム再生が始まります。

- 再生中にプログラムした場合は、再生ボタン(►)を押す必要はありません。



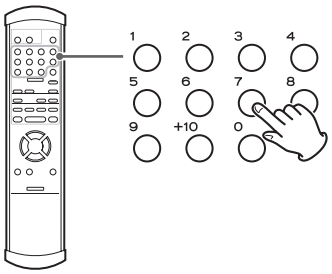
プログラムした最後の曲番を削除するには

停止中または再生中に、クリアボタン(CLEAR)を押すと最後にプログラムした曲番が削除されます。再度数字ボタンを使って入れ直すこともできます。



プログラムの最後に曲を追加するには

停止中または再生中に、数字キーで追加したい曲番を選んでください。

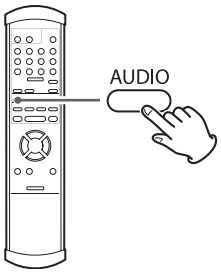


全てのプログラム内容を消去して通常の再生に戻るには

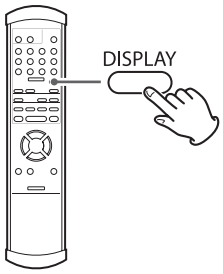
停止中または再生中に、オーディオボタン(AUDIO)を押すとプログラムモードは解除されます。プログラム再生中にオーディオボタン(AUDIO)を押した場合は、そこから通常の再生に戻ります。

● プログラム内容は消去されます。

また、停止中または再生中にトレー開閉ボタン(⏏)や本体の電源ボタンを押した場合もプログラム内容は消去されます。

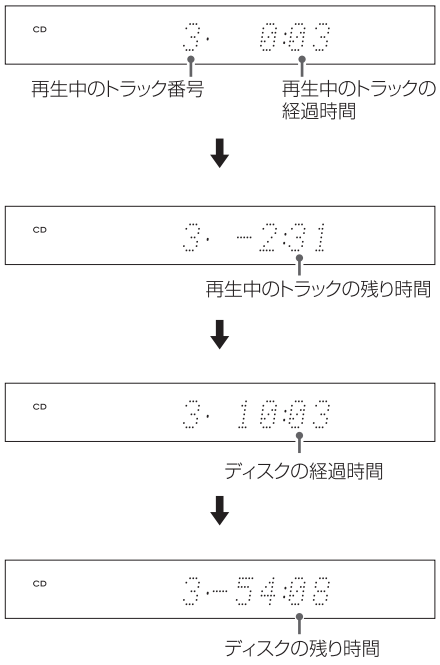


ディスプレー



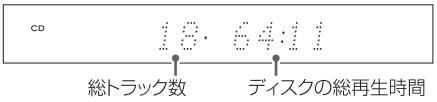
ディスクの再生中または一時停止中にディスプレーボタン(DISPLAY)を押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

例)

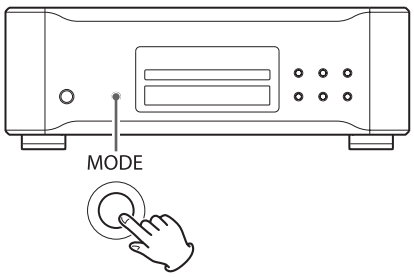


● 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

例)

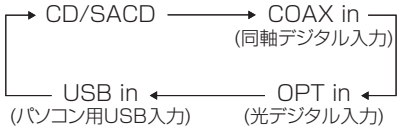


D/Aコンバーターモード



本機はD/Aコンバーターとして使用することができます。

停止中にモードボタン(MODE)を押すたびに、以下のようにソースが切り換わります。外部デジタル入力(COAX in、OPT in、USB in)から選択して下さい。
リモコンで操作する場合は、停止中にGROUP/TITLEボタン(I◄◄/►►I)を押します。



● 外部入力(COAX in、OPT in、USB in)を選んだときは、ディスプレーに入力名と入力されているサンプリング周波数が表示されます。入力信号がないときや入力信号にロックできないときは、入力サンプリング周波数が表示されずに、入力名が点滅表示されます。

● 入力信号がデジタルオーディオ信号ではない場合や、Dolby Digital、dts、AACなど本機が対応していないオーディオ信号フォーマットの場合、サンプリング周波数表示部に「- - -」と表示されます。 接続している機器のデジタルOUT設定をPCMオーディオ出力に設定してください。

● 外部入力(COAX in、OPT in、USB in)を選んでいるときは、トレー開閉ボタン(OPEN/CLOSE)以外のディスク操作はできません。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

本機のUSB入力端子とパソコンをUSBケーブルで接続して、パソコンに記録されている音楽ファイルを本機のD/Aコンバーターを使って再生することができます。
USB接続できるパソコンのOSは

Windows XP (32bit 版)
Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)

Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
(OS X 10.6.4 以降)
Mac OS X 10.7 (Lion)
Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)

のいずれかとなります。これ以外のOSでは動作は保証いたしません。

● パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記のOSを使用していても動作しない場合があります。

● HIGH SPEED1、HIGH SPEED2モードで接続する場合には、接続前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。またOSにWindows XPをお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

専用ドライバソフトダウンロードホームページアドレス
http://www.esoteric.jp/products/esoteric/usb/usb_driver.html
上記ホームページより、ファイルをダウンロード後、専用ドライバーソフトをインストールしてください。

本機は、パソコンとのUSB接続時に3つのモードが選択できます。設定方法は、25～27ページを参照してください。

NORMALモード

設定で、USB>NORを選択します。
パソコンとFULL SPEEDモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzです。本機とパソコンを接続するための専用ドライバーソフトをインストールする必要はありません。パソコンのOSに標準で付属されているUSBオーディオドライバーで接続可能です。

● 初めて本機とパソコンを接続した際に、パソコン側で、本機のUSBポートを自動検出し、ドライバーが自動でインストールされます。OSの指示に従って、ドライバーのインストールを完了後に、音楽ファイル再生ソフトを起動してください。
正しく接続されると、オーディオの出力先として「ESOTERIC USB AUDIO」が選択可能となります。

HIGH SPEED 1 モード

設定で、USB>HS_1を選択します。
パソコンとHIGH SPEEDモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。本機とパソコンの接続のために事前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。
専用ドライバーソフトは、インターネットホームページより、ダウンロードしてください。
正しく接続されると、オーディオの出力先として、「ESOTERIC USB HS AUDIO」が選択可能となります。

HIGH SPEED 2 モード

設定で、USB>HS_2を選択します。
パソコンとHIGH SPEEDアシンクロナスモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。本機とパソコンの接続のために事前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。
専用ドライバーソフトは、インターネットホームページより、ダウンロードしてください。
正しく接続されると、オーディオの出力先として、「ESOTERIC USB HS ASYNC AUDIO」が選択可能となります。
アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

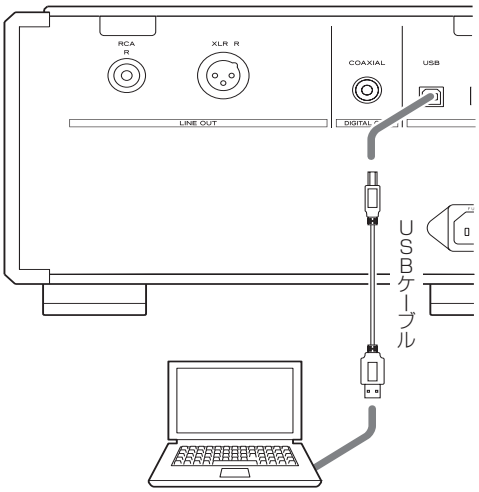
● HIGH SPEED2モードでパソコンと本機を接続した場合に、再生音の途切れや一定間隔のノイズが発生するような場合は、HIGH SPEED 1モードを設定してお使いください。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する (続き)

● HIGH SPEED1、HIGH SPEED2モードで接続する場合には、接続前に専用ドライバーソフトをインストールする必要があります。(22ページ)

1 USBケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。



パソコン

2 パソコンの電源を入れる。

OSが正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン(POWER)を押して本機の電源を入れる。



4 モードボタン(MODE)をくり返し押して「USB in」を選ぶ。(22 ページ)



5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

● パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。

● 本機からUSB経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。

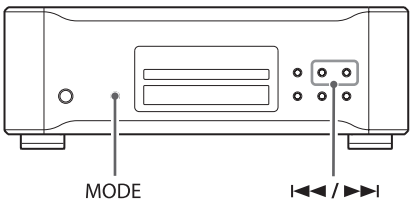
● USB接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。

USBケーブルを抜く
本機の電源をオフにする
入力を切り換える

● USB接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。 操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。

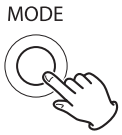
● 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

設定について



設定のしかた

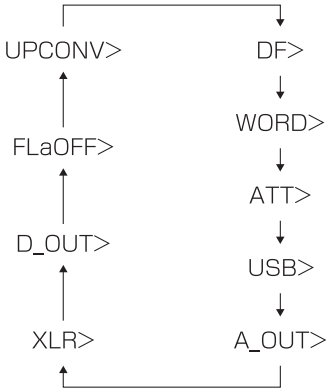
1 停止中または再生中に、モードボタン(MODE)を 2 秒以上押し続ける。



2 モードボタン(MODE)をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

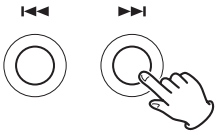


モードボタン(MODE)を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。



- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。
- 10秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。
- メニュー表示中にモードボタン(MODE)を2秒以上押し続けるか停止ボタンを1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

3 本体またはリモコンのスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 **2** と **3** をくり返してください。

4 モードボタン(MODE)を 2 秒以上押し続けて、設定を終了する。



または、10秒以上放置するか、停止ボタンを1回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- 設定した内容は電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

設定できる項目と設定

アップコンバーター部のアップコンバート設定
表示(UPCONV>***)

各入力ごとに設定可能です。
スーパーオーディオCD再生時はDSD信号がストレートにD/Aコンバーター部に伝送されます。

ORG(オリジナル)

アップコンバートを行わず入力信号がオリジナルのままストレートにD/Aコンバーター部に伝送されます。

2Fs

32kHz/44.1kHz/48kHzのソースを、それぞれ2倍の64kHz/88.2kHz/96kHzにアップコンバートし、D/Aコンバーター部に伝送します。

4Fs

32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzのソースを、それぞれ4倍または2倍の128kHz/176.4kHz/192kHzにアップコンバートし、D/Aコンバーター部に伝送します。

DSD

DSDにデジタルフォーマット変換し、D/Aコンバーター部に伝送します。

D/Aコンバーター部のデジタルフィルター設定
表示(DF>*****)

各入力ごとに設定可能です。
スーパーオーディオCD再生時は、DSD専用フィルターに固定されます。

OFF

D/Aコンバーター部のデジタルフィルターを使用しません。

● この設定では、高調波成分が出力されます。高調波成分による混変調などでノイズが出る場合は、DFをFIRまたはS_DLYに設定してください。

FIR1

入力Fsにしたがって、FIR型フィルターのカットオフ周波数を可変します。

FIR2

入力Fsにかかわらず、カットオフ周波数約80kHzのFIR型フィルターを使用します。

S_DLY1

入力Fsにしたがって、S_DLY型フィルターのカットオフ周波数を可変します。

S_DLY2

入力Fsにかかわらず、カットオフ周波数約80kHzのS_DLY型フィルターを使用します。

CD/スーパーオーディオCD再生時のワード入力の設定
表示(WORD>***)

● 外部入力モード時は、ワードシンク機能は働きません。

OFF

ワードシンクしません。

ON

ワードシンクします。

● 入力可能なワードシンク周波数は、44.1kHz/88.2kHz/176.4kHz/10MHzです。
● 10MHzを入力した場合、他の周波数に比べてロックするまでに時間がかかります。

D/Aコンバーター部のデジタルフィルターについて

FIR型デジタルフィルター
従来から音質に定評のあるフィルターで、濃密で豊かな音の響きと音の切れを両立させた音色を特徴とします。

S_DLY型デジタルフィルター
インパルス応答にプリエコーがなく、音の立ち上がりや音の余韻が自然で、原音に近い音色が特徴です。

アナログ出力のアッテネーター設定
表示(ATT>***)

● ONに設定すると、リモコンの音量ボタン(VOLUME)でアッテネート値を可変することができます。

● OFFに設定すると、リモコンの音量ボタン(VOLUME)、ミュートボタン(MUTING)は、無効となります。
ESOTERICのアンプと組み合わせて使う場合は、OFFに設定してください。

OFF

アッテネーターを使用しません。

ON

アッテネーターを使用します。−99 ～ 0dB (1dBステップ) までの設定が可能です。(29ページ)

USB入力の設定
表示(USB>***)

● High Speedモードオン設定では、パソコン側への専用ドライバーソフトのインストールが必要です。ドライバーソフトはホームページよりダウンロードしてください。

NOR

USB FULL Speedモードで接続します。
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzです。

HS_1

USB HIGH Speedモードで接続します。
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。

HS_2

USB HIGH Speedアシンクロナスモードで接続します。
入力可能サンプリング周波数は、32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHzです。アシンクロナスモードは、パソコンから伝送されたオーディオデータを本機のクロック信号に従って再生するモードです。

● HS_2設定で再生音が途切れたりノイズが出る場合はHS_1に設定してください。

アナログ出力の設定
表示(A_OUT>****)

RCA

RCA端子からアナログオーディオ信号を出力します。

XLR2

XLR端子から2番HOTでアナログオーディオ信号を出力します。

XLR3

XLR端子から3番HOTでアナログオーディオ信号を出力します。

OFF

アナログ出力を行わずD/Aコンバーター回路を停止します。

XLR出力時のゲイン設定
表示(XLR>****)

+6dB

XLR出力のレベルをRCA出力の2倍のレベル(+6dB)に設定します。

0dB

XLR出力のレベルをRCA出力と同じレベル(0dB)に設定します。

● アナログ出力設定がXLR2,XLR3に設定されていない場合は、表示されません。

●「+6dB」設定で音声がクリップしてしまう場合は、「0dB」設定にしてください。

● 接続するアンプにより、+6dB設定でRCA端子の入力と同じ音量になるものと、0dB設定で同じ音量になるものがあります。

設定できる項目と設定 (続き)

デジタル出力の設定
表示(D_OUT>***)

● スーパーオーディオCD再生時は、自動的にオフとなります。

OFF

デジタル出力オフとなります。

CD

CDのデジタル音声信号が出力されます。

THRU

CD再生時はCDのデジタル音声信号が、外部入力モード時は選択されたソースのデジタル音声信号が出力されます。USB選択時は、USBオーディオ伝送フォーマットからS/PDIFフォーマットに変換された信号が出力されます。

自動FL(ディスプレー)消灯設定
表示(FLaOFF>***)

15m

再生停止状態で15分間操作の無い状態が続くと、FL表示が自動的に消灯します。

30m

再生停止状態で30分間操作の無い状態が続くと、FL表示が自動的に消灯します。

60m

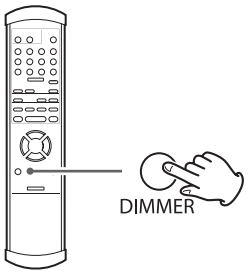
再生停止状態で60分間操作の無い状態が続くと、FL表示が自動的に消灯します。

OFF

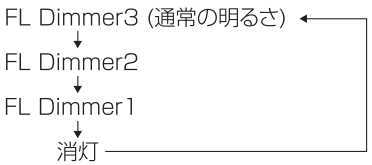
FL表示は自動的に消灯しません。

● FL表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動FL消灯設定を有効にすることをお勧めします。

ディマー



本体のディスプレーとインジケーターの明るさを調節できます。

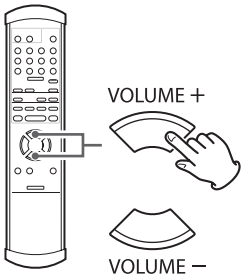


● 「消灯」を選ぶと、ディスプレーとインジケーターが消灯します。

● 消灯中に再生ボタンなどを押すと、約3秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。

● Dimmer3以外が選択されていても、エラー表示や設定MENU表示を行っている時は、通常の明るさ(Dimmer 3)になります。

音量の調節



本機はアナログ音声出力の音量を調節することができます。プリアンプを介さずに直接パワーアンプに接続して使用する場合に便利です。

● アッテネーターの設定をオンにしてください。(27ページ)

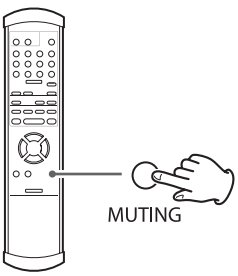
リモコンの音量ボタン(VOLUME)の＋を押すと音量が上がり、－を押すと音量が下がります。1dBステップ(−99 ～ 0dB) で調節が可能です。

スーパーオーディオCD再生時またはDSD信号にフォーマット変換時(26 ページ)のミュートレベルについて

アナログ出力をXLR2またはXLR3に設定し、XLR出力のゲイン設定を+6dBにしたとき(27ページ)、音量は−54dBでミュート(−∞)となります。

その他の設定のときは、−48dBでミュートレベルとなります。

消音(ミューティング)



リモコンのミュートボタン(MUTING)を押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

● アッテネーター機能がオンの場合のみ有効です。(15ページ)

⚠注意

音量は電源をオフにしても記憶されます。パワーアンプの電源をオンにする前に、必ず本機の音量を最小にしてください。

アッテネーターの設定をオフにしたままで、絶対にパワーアンプに直接接続しないでください。突然大きな音が出て聴力障害やスピーカーの破損の原因となることがあります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)にご連絡ください。

一　般

電源が入らない。

➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

➔ 電源コードと本機の接続を確認してください。

リモコンで操作できない。

➔ 本体の電源をオンにしてください。(16ページ)

➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。(9ページ)

➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から7メートル以内の距離で、本体に向けて操作してください。(9ページ)

テレビなどが誤動作する。

➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

CDやスーパーオーディオCDを再生できない。

➔ モードボタン(MODE)をくり返し押して、「CD/SACD」を選んでください。(22ページ)

➔ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。

➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(8ページ)

➔ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて1、2時間放置してください。(6ページ)

ボタンを押しても反応しない。

➔ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。

➔ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

困ったときは (続き)

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

- ➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(10ページ)
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➡ デジタル音声出力端子からは、スーパーオーディオCDのデジタル音声は出力できません。
- ➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタン(PLAY)を押して通常の再生に戻してください。
- ➡ アナログ音声出力の設定を確認してください。(27ページ)

外部接続した機器でデジタル録音できない。

- ➡ コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。

CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じる。

- ➡ CDとスーパーオーディオCDで音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式やマスタリング、オーサリングの違いによるものです。

ワードシンク

「No Word!」が表示される。

- ➡ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
- ➡ ワードクロックが入力できない時は、ワードシンクはオフにしてください。(26ページ)

「WRD UNLCK!」が表示される。

- ➡ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

  本機に入力可能な周波数は44.1kHz/88.2kHz/176.4kHz/10MHzです。

パソコンとのUSB接続

パソコンで本機が認識されない。

- ➡ USB接続できるパソコンのOSは下記のいずれかとなります。

  Windows XP 32bit
  Windows Vista 32 / 64bit
  Windows 7 32 / 64bit
  Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
  (OS X 10.6.4 以降)
  Mac OS X 10.7 (Lion)
  Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)

  これ以外のOSでは動作の保証はいたしません。

雑音がする。

- ➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
- ➡ 本機とパソコンをUSBハブなどを介して接続していると雑音がでることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない。

- ➡ パソコンと本機を接続して「USB in」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB in」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。
- ➡ HIGH SPEEDモードで使う場合は、専用ドライバー専用ドライバーのインストールが必要です。(22〜23ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオCD、CD (CD-R/CD-RW対応)

アナログ音声出力

端子 . . . . . XLR端子(2 チャンネル)×1
RCA端子(2 チャンネル)×1
出力インピーダンス . . . . . XLR：100Ω
RCA：47Ω
最大出力レベル(1kHz、フルスケール、10kΩ負荷時)
XLR (0dB設定時)：2.45Vrms
RCA：2.45Vrms
周波数特性 . . . . . 5Hz～ 55KHz(－ 3dB)
S/N比 115dB
歪率 . . . . . 0.0015%(1kHz)

デジタル音声出力

RCA端子×1 . . . . . 0.5 Vp-p (75Ω 負荷時)

デジタル音声入力

RCA端子×1(入力インピーダンス 75Ω) . . . . . 0.5 Vp-p
光デジタル端子×1 . . . . . － 24.0～－ 14.5dBm peak
USB-B端子 . . . . . USB2.0 準拠

ワードシンク入力フォーマット

端子 . . . . . BNC
入力可能周波数
44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz、10MHz (±15ppm)
入力インピーダンス 75Ω
入力レベル . . . . . 矩形波：TTLレベル相当
サイン波：0.5 ～ 1.0Vrms (50 ～ 75Ω)

一般

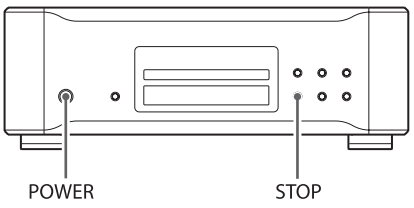
電源 . . . . . AC 100V 50-60Hz
消費電力 33W
外形寸法 . . . . . 445mm x 162mm x 438mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 . . . . . 約 31kg
許容動作温度 . . . . . ＋ 5℃～＋ 35℃
許容動作湿度 . . . . . 5%～ 85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . . － 20℃～＋ 55℃

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-1156)×1
リモコン用乾電池(単3)×2本
フェルト×3枚
取扱説明書(本書)×1
ご愛用者カード×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1. **電源をオフにする。**
電源がオンの場合は、電源ボタン(POWER)を押して電源をオフにしてから 30 秒以上待ってください。

2. **本体の停止ボタン(STOP)を押しながら電源ボタン(POWER)を押す。**
ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたら停止ボタン(STOP)から指を離してください。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。
添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から3年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合 (6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等) は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

29～30ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34ページに記載)にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料 ： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代 ： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 ： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名:スーパーオーディオCDプレーヤー　K-01
シリアルNo.:
お買い上げ日:
販売店名:
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

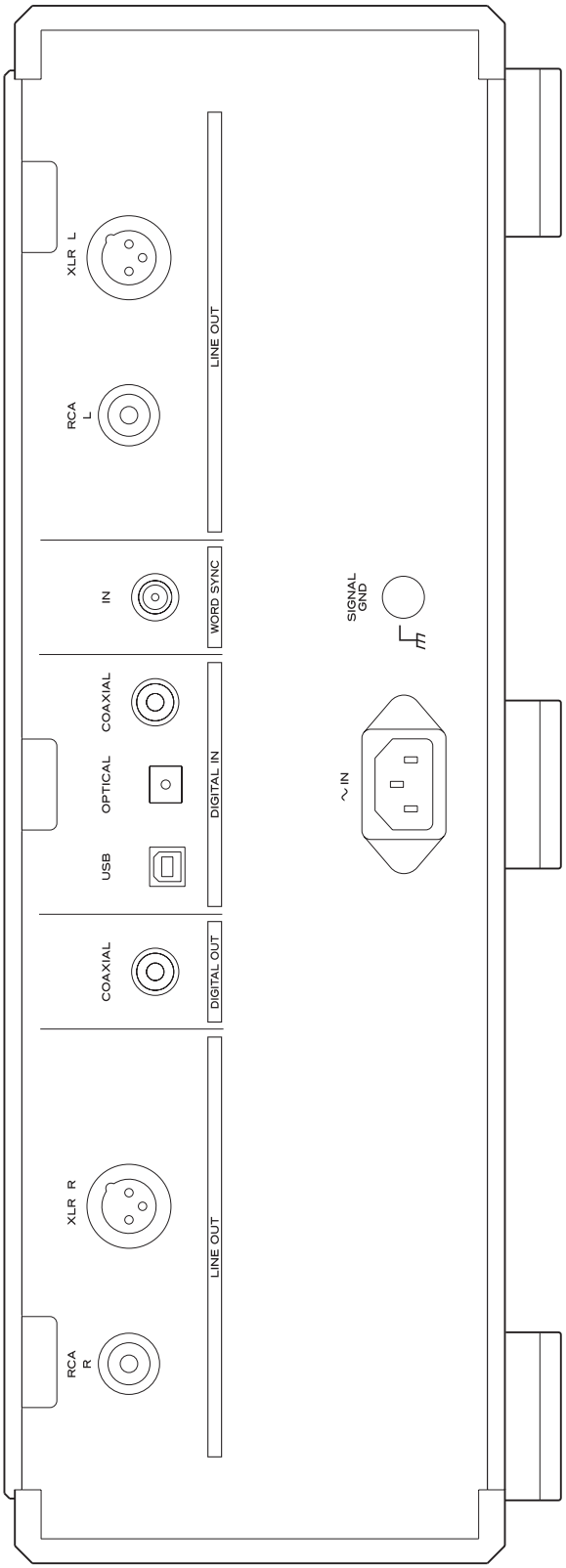
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

リアパネル


XLR L
RCA L
LINE OUT
IN
WORD SYNC
SIGNAL GND
COAXIAL
OPTICAL
USB
DIGITAL IN
~ IN
COAXIAL
DIGITAL OUT
XLR R
RCA R
LINE OUT

エソテリック株式会社

〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47　　http://www.esoteric.jp/

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

市内通話料でOK ナビダイヤル®　0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル®　0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



エソテリック株式会社

1113 MA-1651F